

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公開番号】特開2001-16314(P2001-16314A)

【公開日】平成13年1月19日(2001.1.19)

【出願番号】特願平11-185599

【国際特許分類】

<i>H 04 M</i>	1/247	(2006.01)
<i>H 04 M</i>	1/00	(2006.01)
<i>H 04 M</i>	1/274	(2006.01)
<i>H 04 Q</i>	7/38	(2006.01)
<i>G 06 F</i>	3/048	(2006.01)

【F I】

<i>H 04 M</i>	1/247	
<i>H 04 M</i>	1/00	R
<i>H 04 M</i>	1/274	
<i>H 04 B</i>	7/26	1 0 9 T
<i>G 06 F</i>	3/00	6 5 5 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月12日(2006.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】表示画面を専用表示領域と汎用表示領域に分割し、前記専用表示領域に装置の状態を表示し、前記汎用表示領域に装置の状態以外の情報を表示する表示手段を有する無線電話装置において、

前記専用表示領域の該表示画面上の大きさをユーザが設定できるようにした表示制御手段を具備することを特徴とする無線電話装置。

【請求項2】表示画面を専用表示領域と汎用表示領域に分割し、前記専用表示領域に装置の状態を表示し、前記汎用表示領域に電話番号情報若しくは機能設定情報を表示する表示手段を有する無線電話装置において、

前記専用表示領域の該表示画面上の大きさをユーザが設定できるようにした表示制御手段を具備することを特徴とする無線電話装置。

【請求項3】前記表示制御手段は、前記専用表示領域の位置を該表示画面上で設定可能にしたことを特徴とする請求項1又は請求項2記載の無線電話装置。

【請求項4】前記表示制御手段は、前記専用表示領域内に表示する表示内容を任意に設定可能にしたことを特徴とする請求項1又は請求項2のいずれか1項に記載の無線電話装置。

【請求項5】前記表示制御手段により設定された前記専用表示領域内に表示する表示内容を記憶する記憶手段を更に具備し、

前記表示制御手段は、前記記憶手段に記憶された記憶内容に基づき前記表示手段の表示画面上に表示される表示内容を制御することを特徴とする請求項1又は請求項2のいずれか1項に記載の無線電話装置。

【請求項6】前記表示制御手段は、前記専用表示領域を第1の領域と第2の領域に分割し、前記第1の領域に前記装置の状態を専用に表示し、前記第2の領域に前記装置の状態

以外の情報を表示することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 のいずれか 1 項に記載の無線電話装置。

【請求項 7】 前記表示制御手段は、前記第 2 の領域に表示される前記装置の状態以外の情報をスクロール可能に表示することを特徴とする請求項 6 記載の無線電話装置。

【請求項 8】 前記表示制御手段は、前記専用表示領域を第 1 の領域と第 2 の領域に分割し、前記第 1 の領域に前記装置の状態を専用に表示し、前記第 2 の領域にユーザにより設定された前記装置の状態の一部と前記装置の状態以外の情報を表示することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 のいずれか 1 項に記載の無線電話装置。

【請求項 9】 前記表示制御手段は、前記第 2 の領域に表示される前記装置の状態以外の情報をスクロール可能に表示することを特徴とする請求項 8 記載の無線電話装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、請求項 1 記載の発明は、表示画面を専用表示領域と汎用表示領域に分割し、前記専用表示領域に装置の状態を表示し、前記汎用表示領域に装置の状態以外の情報を表示する表示手段を有する無線電話装置において、前記専用表示領域を該表示画面上の大きさをユーザが設定できるようにした表示制御手段を具備することを特徴とする。

また、請求項 2 の発明は、表示画面を専用表示領域と汎用表示領域に分割し、前記専用表示領域に装置の状態を表示し、前記汎用表示領域に電話番号情報若しくは機能設定情報を表示する表示手段を有する無線電話装置において、前記専用表示領域の該表示画面上の大きさをユーザが設定できるようにした表示制御手段を具備することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、請求項 3 の発明は、請求項 1 又は請求項 2 のいずれかの発明において、前記表示制御手段は、前記専用表示領域の位置を表示画面上で設定可能にしたことを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、請求項 4 の発明は、請求項 1 又は請求項 2 のいずれかの発明において、前記表示制御手段は、前記専用表示領域内に表示する表示内容を任意に設定可能にしたことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、請求項 5 の発明は、請求項 1 又は請求項 2 のいずれかの発明において、前記表示制

御手段により設定された前記専用表示領域内に表示する表示内容を記憶する記憶手段を更に具備し、前記表示制御手段は、前記記憶手段に記憶された記憶内容に基づき前記表示手段の表示画面上に表示される表示内容を制御することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、請求項6の発明は、請求項1又は請求項2のいずれかの発明において、前記表示制御手段は、前記専用表示領域を第1の領域と第2の領域に分割し、前記第1の領域に前記装置の状態を専用に表示し、前記第2の領域に前記装置の状態以外の情報を表示することを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、請求項7の発明は、請求項6の発明において、前記表示制御手段は、前記第2の領域に表示される前記装置の状態以外の情報をスクロール可能に表示することを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

また、請求項8の発明は、請求項1又は請求項2のいずれかの発明において、前記表示制御手段は、前記専用表示領域を第1の領域と第2の領域に分割し、前記第1の領域に前記装置の状態を専用に表示し、前記第2の領域にユーザにより設定された前記装置の状態の一部と前記装置の状態以外の情報を表示することを特徴とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、請求項9の発明は、請求項8の発明において、前記表示制御手段は、前記第2の領域に表示される前記装置の状態以外の情報をスクロール可能に表示することを特徴とする。